

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

青 藍

令和7年度 第4号 2026年3月24日発行

学校教育目標
Go for your dream.
『夢のために、ベストを尽くす』
Sapporo.Ainosato.K.S 一今の自分を超え、より高みをめざそう

北海道札幌あいの里高等支援学校

〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1-1

(電話) 011-770-5511

「生徒は学ぶ主体」「地域と共に歩む」 一年の歩みを振り返って

・教頭 但田寛和

寒さの中にも春の訪れを感じる季節となり、令和7年度の教育活動も大きな節目を迎えました。保護者の皆様、地域並びに関係機関の皆様には、1年間にわたり本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度、本校では、学校のグランドデザインに掲げる「生徒は学ぶ主体」「地域と共に歩む学校」を軸に、教育活動を進めてまいりました。

校長から、4月の始業式、入学式で生徒の皆さんに『札幌あいの里高等支援学校は、皆さんの「やりたい」を叶える学校です』と説明を行い、生徒一人一人にとって主体的に、自ら考え、選び、行動することを大切にしながら、日々の学習活動に取り組んできました。

最近、生徒の皆さんに声をかけて回ったところ、「生徒会に入ることができました」、「部活の大会で勝つことができました」、「新しい友達ことができました」など、「やりたい」を叶えた結果をたくさん教えてもらったところです。

教職員は「やりたい」を叶える中で、生徒が自分で気付き、学びを深められるよう寄り添い、支える存在であることを意識して関わってきました。その結果、生徒が自ら役割を理解し、責任をもって作業に取り組む姿や、仲間と協力しながら課題を乗り越えようとする姿が多く見られました。

また、本校の教育活動は、地域や関係機関の皆様との協働により充実が図られています。作業学習や総合的な探究の時間、学年ごとに役割を担って行うあい circle では、「地域と共に歩む」ことを意識した学習活動を行うことにより、生徒の「やりたい」気持ちを高め、教員の意識が変わり、活動が変わり、生徒の表情が変わるとい、現在進行中の好循環が進んでいると感じているところです。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、この1年間学校を支えていただき本当にありがとうございました。次年度も生徒が主役の学校づくりを進めてまいります。今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



あなたたちの人生は「こっからさ！」



令和8年3月13日（金）、卒業証書授与式を終えた第8期生がこの学び舎から巣立っていきました。仲間と過ごしてきたかけがえのない時間の尊さをかみしめている様子が、卒業証書授与の際の所作、気持ちのこもった答辞、式歌「栄光の架け橋」の歌声などから感じ取られ、思わず涙があふれてきました。3年間の成長を近くで見ることができ幸せに心から感謝した1日になりました。

お子様の御卒業、おめでとうございます。保護者の皆様の御理解と御協力のおかげで卒業の日を迎えられましたことに心より感謝し、お礼申し上げます。

この学年は、生徒の成長を木の成長に重ねて話をしてきました。1年次は「根っこや幹を育てよう」、2年次は「枝を伸ばそう」、3年次は「花を咲かせよう」です。そのために「学校において」と登校を促してきました。友達関係や部活動で悩みながらも自分を奮い立たせて登校してくる生徒、登校しても教室に入ることができなくなってしまった生徒、そもそも登校することの意味が見出せなくなった生徒、と3年間を振り返るとどの生徒も多かれ少なかれ葛藤がありました。育てたつもりの幹が傾き掛けたり、枝がポキッと折れてしまったり、花が咲くことすら想像できなくなったり…。それでも、教師と話し、仲間に励まされ、自分らしい形の木に、自分らしい花を咲かせて卒業の日を迎えられたことに誇りをもって、次に羽ばたいてほしいと思います。

改めまして、保護者の皆様、3年間ありがとうございました。お子様が悩んでいるときには御家庭でも心配なさったと思いますが、都度話を聞き、励まし、そっと学校に送り出してくれたことに感謝いたします。

人生は気が付いたときがスタートです。あなたたちの人生は、「こっからさ！」



(文責：3学年主任 板橋 敦子)

あいチャレンジ～資格・検定への挑戦

「あいチャレンジ」では、検定などに挑戦する生徒を応援するため、本校を会場に行う各種資格・検定料の半額を教育・進路卒業指導振興会費より補助しています。今年度行われた検定試験の受検者は次の通りです。

【日本漢字能力検定】	10級(1名)、8級(4名)、7級(2名)、6級(2名)、5級(3名)、 4級(4名)、3級(4名)、準2級(2名)、2級(1名)
【プレゼンテーション作成検定】	4級(1名)
【文章入力スピード認定試験】	(2名)
【日本語ワープロ検定】	4級(4名)、3級(4名)、準2級(2名)
【日本情報処理技能検定 表計算】	4級(3名)、3級(3名)、準2級(2名)、2級(2名)
【実用英語技能検定】	3級(2名)

生徒の活動実績 (R7年度)

【環境・流通サポート科】

令和7年度アビリンピック北海道大会(障害者技能競技大会)ビルクリーニング部門

銅賞：3年生

【普通科】

BRIDGE 構築事業成果発表会「EZO 探求-festival」出場：2年生

高校生による探求コンテスト2025

～SNS トラブルの被害者にも加害者にもならないために～出場：3年生

【サッカー部】

第24回北海道チャレンジドサッカー大会：準優勝

第15回北海道高等養護学校サッカー大会：優勝

第9回小野寺真吾杯特別支援学校フットサル大会：3位

第11回全国知的障害高等部サッカー大会2025「もうひとつの高校選手権」：7位

【バスケットボール部】

第25回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2025)：出場

第4回北海道高等支援学校バスケットボールチャンピオンシップ大会 男子：3位

第22回北海道 FID バスケットボール選手権大会 男子：3位

【卓球部】

第25回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2025)：1位2名、2位3名、
3位1名

第37回北海道障がい者卓球競技大会：3位1名

新篠津卓球連盟会長杯争奪卓球大会：参加

【美術作品展の参加】

北海道特別支援学校児童生徒文芸作品集

第32回全国特別支援学校文化祭造形・美術部門北海道推薦 「りそなグループ夢賞」受賞
：食品デザイン科2年

学校運営協議会から

「学校運営協議会制度」は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に向けた有効な仕組みです。学校運営協議会には、主な役割として、

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認し、教職員との合意形成の基に学校運営を支えることや、
- ・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができるとあり、本校では、今年度も6月、12月、3月の計3回開催し、学校運営や教育活動に関わる取組に対して御指摘や御助言をいただいております。

3月6日に行われた第3回目では、学習活動の紹介として、生徒の活動報告、コーヒーやパンの提供の後、熟議を行い、委員の皆様からは「自分たちの活動が社会や他者に良い影響を与えていると生徒自身が理解することによって、接客態度や仕事への意識がさらに高まるという内面的成長と行動改善の好循環がみられる。」「地域社会との関係や生徒の主体的活動を重視した新しい学校像である。」といった御意見をいただき、本校の教育活動を評価していただいております。

次年度も、「生徒は学ぶ主体」、「地域と共に歩む」を意識し実現できるよう教育活動を進めて参りますので、皆様からの御支援・御協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



【第3回 学校運営協議会の様子】



【委員長の北海道教育大学 安井教授】

(文責：教頭 俣田寛和)

離任者紹介

【退職】教諭 林康雄、教諭 古田真弓、教諭 本山準一、

【転出】校長 今井章文（美深高等養護学校あいべつ校教頭）

副校長 中川正規（紋別高等養護学校長）、教諭 須頭潤美（札幌工業高等学校）、

教諭 秋田真知子（白樺高等養護学校）、教諭 植井 真（芽室高等学校）、

教諭 成松恵美（新篠津高等養護学校）、教諭 松田知美（札幌高等養護学校）、

教諭 橋本豊夢（千歳高等支援学校）、教諭 高橋 啓（市立札幌北翔養護学校）、

時間講師 前田信幸（白樺高等養護学校）、

指導実習助手 福澤友美（新篠津高等養護学校）、主任主事 佐々木七瀬（胆振教育局）